

平成29年 第1回瑞穂町地域保健福祉審議会 議事録

- 1 日時：平成29年7月4日（火）午後1時30分から午後2時40分
- 2 開催場所：瑞穂町役場庁舎3階 全員協議会室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
村井委員、神田委員、栗原委員、粕谷委員、渡辺委員、五十嵐委員、戸田委員、石塚委員、高橋委員、山口委員、小川委員、関口委員、渡部委員、谷津委員、石蔵委員、石井委員、岩槻委員、田辺委員、村野委員、福井委員  
欠席委員 栗原委員、大屋委員、石塚委員、横澤委員、
  - (2) 事務局  
横沢福祉課長、臼井高齢課長、福島健康課長、青木障がい係長、石川児童係長、荻野児童館係長、吉岡子育て支援係長、並木高齢係長、片野介護係長、坂内高齢課主査、鳥海健康係長、若松保健係長、安藤福祉係長、岡部福祉係主事
- 4 次第
  - 1 開会
  - 2 自己紹介
  - 3 地域保健福祉計画の概要説明について
  - 4 会長・副会長の選出について
  - 5 議題
    - (1) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の進捗状況について
    - (2) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の専門分科会について
  - 6 その他
  - 7 閉会

【配布資料】

瑞穂町地域保健福祉審議会委員名簿

取組指標等について

評価指標

効果（成果）判定 取組状況（結果）の評価「評点100のもの」（6項目）

効果（成果）判定 取組状況（結果）の評価「評点0（なし）のもの」（4項目）

瑞穂町第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 0名

## 7 議事録

### 1 開会

### 2 自己紹介

### 3 地域保健福祉計画の概要説明について

事務局より第3次地域保健福祉計画の概要を説明

### 4 会長・副会長の選出について

会長に瑞穂町民生委員・児童委員協議会会長石塚壽則委員

副会長に西多摩地区保護司会瑞穂分区粕谷道子委員

### 5 議題

#### (1) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の進捗状況について

福祉課長 資料2『評価指標』について、事務局より説明

#### 質疑

戸田委員 基本目標4の「30分、週に2回以上の運動をしている者」の割合について、今後34%という目標値のためにどのようにデータを把握するのか。

健康課長 町で実施している特定健康診査を受診することで、ある程度のデータを把握することは可能になる。平成28年度のデータは次回の審議会までには提示できる。

戸田委員 町の特定健康診査以外で、健康診査を受診している方がいるが、その方を含めていないと数値が低く出てしまうのではないか。

健康課長 特定健康診査は、国民健康保険に加入している方のみが対象となるので委員の指摘通りになるが、今後、町の長期総合計画や地域保健福祉計画に、この項目を設けるようであれば、改訂の際に他課と連携しアンケートを実施してデータを集約していきたい。

山口委員 基本目標1「ふれあい・いきいきサロン」数について、平成27年度から平成28年度では17サロンから16サロンへと1サロン減っているが、平成29年7月現在、3サロン既に準備中であり、9月にも1サロン増える予定となっている。基本目標2「瑞穂町社会福祉協議会登録ボランティアグループ数」については、現在32団体ではあるが、流動的であることは承知願いたい。

福祉課長 資料3『効果（成果）判定 取組状況（結果）の評価「評点100のもの」（6項目）』、資料4『効果（成果）判定 取組状況（結果）の評価「評点0（なし）のもの」（4項目）』について、事務局から説明する。

高齢課長 1ページ「敬老会」について、取組状況や課題等は記載の通り。ホール内の配置人数を10名増員し、安全面に配慮したことで、ケガ人等を出すことがなかった。2ページ目「高齢者福祉センター寿楽」について、取組状況や課題等は記載の通り。昨年度と比較すると施設利用人数が2.4%増の34915人となっている。要因としては、一般利用者とデイサービス利用者が増えたことによる。3ページ「地域包括支援センターの充実」について、取組状況や課題等は記載の通り。おおよそ八高線で東西に分けて、東部と西部の高齢者支援センターと名称を変更した。4ペー

ジ「福祉関係職員の資質向上」について、取組状況や課題等は記載の通り。専門職であるケアマネがケアプランを作成するため、職員の専門性が求められる。職員側の資質向上に努める必要があり、説明会や研修会に積極的に参加している。

山口委員 2ページ「社会参加のための支援サービスの充実」について、取組状況や課題等は記載の通り。120件という件数は、他の事業所に比べ多い人数になっている。町内の事業所、また、西多摩地区の事業所においても人数が飽和状態であり、埼玉県の入間市、飯能市まで利用者がいる。

福祉課長 5ページ「子育て支援情報の提供」について、取組状況や課題等は記載の通り。町の方で作成している『子育てほっとブック』と内容が重なるところがあることや『子育てガイドブック』もある程度目標を達成したことから、見直しを検討している。

村井委員 十分な根拠があるうえで、想定した目標値を超えているということであれば、Aの100点という評価をつけるのは妥当である。来年度以降もAの100点を継続していくことが重要である。Aの100点をつけられる事業というのは、町が誇れる事業なため、町民に知ってもらいたい。

福祉課長 資料4『効果（成果）判定 取組状況（結果）の評価「評点0（なし）のもの」（4項目）』について、1ページ「地域福祉の担い手の養成のための研究」、「地域福祉の担い手の活動支援」とともに、担い手の養成へ向けた具体的な取組を社協と連携していくことが今後の課題となっている。2ページ「定年退職者などへの地域活動参加の機会と情報の提供」及び3ページ「NPO・ボランティアに対する評価システムの理解促進」について、取組状況や課題等は記載の通り。

#### 質疑

戸田委員 要望として、地域福祉の担い手の仕事内容が明確化されていない、また、サービス別、地域別の登録制度を設ける等のもう一步踏み込んだ取組みが行われると良い。

山口委員 社会福祉協議会としてボランティアセンターの人材発掘及び人材育成は進んでいる。町としては、進んでいないことと社協と連携が取れていないという進捗結果が成果としてでている。

村井委員 課題としてあげたものを今後どのように取組んでいくのか、展望等があるのであれば教えてほしい。

福祉課長 福祉係として、社協と連携をとれていないことは課題として捉えている。また、取組めていないものについては、29年度はやり方を変えるなどの検討しており、次回の審議会には何かしらの進捗を報告したい。

#### (2) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の専門分科会について

障がい係長 第5期障害福祉計画は、障害者総合支援法第88条を根拠にした法定計画であり、平成30年度から平成32年度の3年間の計画期間である。当審議会から大屋委員、五十嵐委員、石蔵委員、村野委員の4名の方が分科会に参加する。他の6名の方については、瑞穂町身体障害者共生会、瑞穂町民生委員・児童委員協議会、田園調布大学教授、瑞穂町医師会、瑞穂町社会福祉協議会職員、東京都西多摩保健所課長代理で構成する。

高齢係長 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画専門分科会について、当審議会から6名の方に参加依頼している。瑞仁会良友園施設長である小山委員、西多摩地区保護司会瑞穂分区から粕谷委員、寿クラブ連合会から高橋委員、社会福祉協議会から

山口委員、公募委員から石井委員、住民部長の横澤委員の以上6名に依頼。今年度計画策定に向け、5回の会議を予定している。

## 6 その他

事務局 次回の審議会は、来年の2月中旬を予定している。日程が決まり次第、早めに通知する。また、本日、新しい委員の方に報酬を振込む際に口座登録をするので、登録用の用紙を配付している。記入後、返信用封筒で事務局まで返送。

第1回瑞穂町地域保健福祉審議会閉会。